

思い出の我が母校

新冠小学校

新冠小学校の変遷



創立：明治 18 年 10 月 12 日
位置：新冠町字中央町 20-1
区域：本町、中央町、北星町、東町、西泊津、東泊津、高江



昭和 9 年に建設された旧校舎

明治 18 年：明治期における開拓移住により人口が増え、児童教育が必要になってきた。そのため、地域住民の尽力により、新冠において初めて学校が設置された。当時は日新小学校と呼ばれ、現在の本町に所在していた。

明治 45 年：校舎を全面的に改築する。1・2 年、3・4 年、5・6 年の 3 学級編成となる。

大正 7 年：日新尋常高等小学校として認可される。

大正 14 年：教室等一部を改築する。5 学級編成となる。

昭和 9 年：校舎老朽化により、現在地（現：中央町）へ移転改築する。総工費は当時で 17,900 円。

昭和 16 年：戦時下の国民学校奨励により、日新国民学校と改める。

昭和 22 年：戦後になり、新冠村立日新小学校と改称する。また、新冠中学校が併置される。

昭和 24 年：6 学級編成となる。

昭和 26 年：日新小学校から新冠小学校へと校名を改める。

昭和 31 年：開校 70 周年記念式典が挙行される。関連して、鉄棒や卓球台、ジャングルジム等運動器具を充実させる。

昭和 36 年：町制施行に伴い、新冠町立新冠小学校となる。

昭和 40 年：開校 80 周年記念式典が挙行される。このときは 12 学級編成。

昭和 50～52 年：3 カ年計画で校舎新築工事が行われる。52 年には、新校舎落成式典、祝賀会事業が実施される。

昭和 60 年：開校 100 周年記念式典、関連事業が挙行される。

平成 18 年：このときの児童数は 6 学級 184 名。平成 20 年に新冠町内の学校が統廃合するが、新冠小学校は存続し、主に市街地、高江、泊津、節婦町、大狩部の児童が通学する予定である。

小竹町長の動静 & まちのできごと

11 月 ●は町長出席

- 2 日、就学前乳幼児すくすくアクションプラン策定委員会、(株)新冠ヒルズ取締役会
- 3 日、平成 19 年度新冠町功労賞・善行賞贈呈式
- 3 日、全国市町村ホースサミット (宮崎県)
- 4 日、若園小学校閉校式典
- 6 日、新冠町防災会議
- 8 日、北海道競馬改革ビジョン推進委員会 (新ひだか町)
- 9 日、農業サミット
- 11 日、大狩部小学校閉校式典
- 12 日、入札
- 12 日、例月出納検査
- 13 日、交流促進事業化検討委員会
- 15 日、「世界のおもちゃ展」新冠展オープニングセレモニー
- 16 日、庁内会議
- 18 日、太陽小学校閉校式典
- 21 日、定住・移住 PR 企業訪問 (愛知県)
- 24 日、明和小学校閉校式典
- 30 日、日高中部衛生施設組合・消防組合臨時会 (新ひだか町)、日高中部通年雇用促進協議会総会 (新ひだか町)、税を考える週間習字展賞状授与式

人の
うごき
(平成 19 年 11 月末現在)

人口 5,996 人 (前月比 ± 0 人)
男 2,930 人 (前月比 ± 0 人)
女 3,066 人 (前月比 ± 0 人)
世帯 2,605 世帯 (前月比 ± 0 世帯)
外国人登録者 45 人

